



<http://www.yamato-rc.org/>

【委員会報告】

親睦委員会委員長武田茂会員／
8/7すだての件。参加できなかった方へノ
リのお土産を配ります。
青少年奉仕委員会委員長松川健治会員／
8/27（木）14時～FM大和にて絵画コン
クールの宣伝を致します。



松川委員長



武田委員長



スマイルBOX

本日 ￥21,000 累計 ￥132,000

◆RI 第2780地区 第6Gガバナー補佐 辻彰彦様（大和中
RC）／皆様、こんにちは！！暑さに負けていない方ば
かりで安心いたしました。さて、本日は、9月1日のガバ
ナー公式訪問の前段として、地区の方針、考え方を少し
お話しさせていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上
げます。

◆座間RC 磯部芳彦様／大変ご無沙汰しており
ます。本日もお世話になります。

◆会長 富岡弘文会員／「すだて遊び」
は、本当に楽しかったです。私は大漁
で家族にも喜ばれました。参加された
皆様、親睦委員会の皆様、ありがと
うございました。辻ガバナー補佐、
本日は宜しくお願ひ致します。

◆幹事 三浦高義会員／本日は、辻
ガバナー補佐、お越しいただきあり
がとうございます。

◆松川清会員／毎日、毎日の猛暑には
言葉が有り・・・ませんね。コロナ、
暑さにも負けず頑張りましょう。

◆増正之会員／ガバナー補佐 辻彰彦様、
御苦労様です、今日は宜しくお願ひします。
大和市のコロナ感染者8月17日現在、94名になりまし
た。お互い3密は守りましょう。

◆古木通夫会員／日々の日課！コロナ対策と熱中症対策
だけ！

◆伊藤健司会員／辻AG本日はよろしくお願ひします。磯
部さん、大和クラブへようこそお越し下さいました。ご
ゆっくりお楽しみ下さい。

◆本田誠一会員／すだて、本当に楽しかったです。鯛の
さばきは苦労しました。今日は、辻ガバナー補佐のお話

し、期待しています。

◆石高誠一会員／すだて遊びに参加された皆さんお疲れ
様でした。今後もすごく暑い日が続きますので、くれぐ
れも熱中症には気を付けて下さい。

◆花岡淳子会員／BS放送の空港ピアノ、駅ピアノの番組
に触発されピアノが弾けたらステキだなと思い、9月から
月1～2回程度、発表会なしの条件で個人レッスン
を受けることになりました。続けて行けるか
自信はありませんが、ひとまず、チャレン
ジしてみます。ちなみに、発表会は聴か
せたい人がいる天国で開く予定です。

◆山田己智恵会員／先日、すだてに参
加させていただきました。初めての経
験で、暑い日にもかかわらず、海風が
涼しく、新鮮なお魚をおいしくいた
きました。石高さんはじめ皆様にお世
話になりありがとうございます。次
回は是非、着替えを持っていき魚をとり
たいと思います。また、原田さんの息子
さんが国際モスクワ音楽コンクールでグ
ランプリをとられました。大変うれしく思
います。おめでとうございます。

◆引田俊一会員／お世話になっております。いつも遅
参して申し訳ありません。先日、父の新盆でお墓参りし
てきました。佐々木和夫さん頑張って闘病してます。頑
張ってほしいです。

◆細川康治会員／辻ガバナー補佐、ようこそいらっし
やいました。卓話楽しみにしています。磯部さん、お久し
ぶりです。



山田会員のスマイルボックス



Since 1962 RI第2780地区 第6グループ

大和ロータリークラブ 週報

Yamato Rotary Club Weekly

<http://www.yamato-rc.org/>



【大和ロータリークラブ活動方針： 職業に、人生にロータリーを活用しよう】

例会場 / 北京飯店 4F : 会 長 / 富岡 弘文 幹 事 / 三浦 高義
例会日 / 毎週火曜日12時30分～13時30分 : 会長エレクト / 本田 誠一 副幹事 / 伊藤 健司
事務局 / 大和商工会議所内 TEL046-263-7926 : 事務局 e-mail / jimukyoku@yamato-rc.org

第 2719 回 2020 年 8 月 18 日 (火)

司 会 / SAA 増正之 君
齊 唱 / 「奉仕の理想」
S. L. / 山田己智恵 君
ゲ ス ト / RI 第 2780 地区 第 6G ガバナー補佐
辻 彰彦 様
ビ ジ タ ー / 座間 RC 磯部芳彦 様

会長の時間

富岡 弘文 会長

皆様、お暑うございます。コロナへの配慮で長くお会いできない方も居られますが、電話で話すとお元気な様子です。出席を控える旨の連絡を頂けたら出席扱いと出来て、お弁当の無駄が無くなりますので、欠席の連絡をお願いします。私は、大和徳洲会病院のドックで大腸ポリープを取って貰って、2週間はランニング禁止で引きこもっていました。解禁後の週末は連日、古木さんの中央林間テニスクラブで朝の8時からレッスンに参加して、灼熱の暑さを満喫しました。因みに、当クラブOBの加藤さんが、中級クラスで頑張っていたら良かったです。いや、お元気です。7日に行った「すだて遊び」は大成功でした。参加された皆様、お疲れさまでした。この時期の家族会実施には異論もあろうかと思いますが、大型バスに半分の乗車、貸し切り船は吹きさらしの換気で、安心感がありました。見渡す限りの浅瀬に作った「すだて」で、タイなどの立派な魚を捕まえるのは大人も子供も夢中になる楽しさでした。近いの



で、ぜひまた来たいと思いました。会長としては、数年前に中止となった企画の実現に向け、早い時期から石高さんに相談していたので、このような状況で参加者が集まり、本年度のイベントが一つでも実現できたことは感慨無量です。親睦委員会の皆様、ありがとうございました。さて、本日は、第6グループ辻ガバナー補佐をお迎えして、再来週に迫った久保田ガバナーの公式訪問に備えたクラブ協議会です。辻AGから方針などについての説明を頂き、しっかり準備をして参りたいと思います。

幹事報告

三浦 高義 幹事

【ポスティング】
・次第
・週報

【回覧】
・大和青年会議所 応援プロジェクト事業報告
・大和市国際化協会 協力指定ガイド



今後の情報	日付	時間	回数	プログラム内容		
	9月 1日 (火)	12:30	2721	ガバナー公式訪問 第3回クラブ協議会		
	9月 8日 (火)	12:30	2722	卓話「読んでますか？ロータリーの友」		
	9月 15日 (火)	12:30	2723	卓話「IM中間報告」		
	9月 22日 (火)	-	-	取止め例会 (祝日週)		
例会日	会員数	出席	出席%	欠席	欠席者名	
8月 4日	34(7)	前々回	26	81.25	7	伊藤(健)、森川、田辺、川本、原田・植松
8月 18日	34(7)	前回	29	85.29	5	川本、原田、植松、畠山、田辺、
8月 25日	34(7)	本日				

「ガバナー公式訪問に備えて」

RI第2780地区 第6Gガバナー補佐

辻 彰彦 様



それでは、只今より9月1日に予定している、久保田ガバナー公式訪問に備えて今年度の2780の地区の目標をご説明いたします。久保田ガバナーは当日この目標についての具体策を述べていただきます。あらかじめご理解していただき、ガバナーへの質問を準備ください。よろしくお願いたします。

ホルガー・クナーク氏

ドイツ、ヘルツォーグトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ

RI会長テーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

『楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 (together) であることも、驚くことではありません。』



【ロータリービジョンの声明】
『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』
「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.」

ガバナーご挨拶

「TOGETHER～もっと自由に」

今年度ホルガー・クナークRI会長は、『ロータリーは機会の扉を開く』をテーマに選びました。この数年の経験を経て一層、この言葉が意味すること、指し示す方向、皆さんもお分かりのことと思います。その扉は無数にあります。そして、その鍵を持っているのは皆さんです。すでに一つ私たちは新しい扉を開きましたね。まだまだたくさんある扉を、また一緒に開き、その先にある壮大な世界を一緒に体験しましょう。2020-21年度が、ロータリーにとって、あなたにとって素晴らしい未来に向けて入口でありますように。

Rotary 



国際ロータリー第2780地区
2020-21年度ガバナー
久保田 英男

地区目標



1. RI会長テーマおよびビジョン声明・戦略(行動)計画・強調事項の推進

先述の通り2020-21年度のRI会長テーマ『ロータリーは機会の扉を開く』の意味を考え、それに相応しい活動を期待しています。

「ロータリーのビジョン声明」及び「ロータリーの戦略的優先事項」「ロータリーの中核的価値観」の理解と周知をお願い致します。そして、5年後のようなクラブになりたいかを自問しクラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考える為の「クラブ戦略(長期)計画会議」の実施を推奨いたします。



2. RIロータリー賞への積極的なチャレンジ

ロータリー賞の各項目は、客観的に自クラブを評価できるように設計されているので、クラブの強み弱点を把握できる利点があり、積極的に活用し、クラブの活性化活用してもらいたい。

ロータリー賞は、表彰の為にあるのではなく、目標設定・目標管理にあります。先に推奨した「クラブ戦略(長期)計画会議」を開催し、クラブのみんなで目標を設定するのもいいでしょう。目標や目的をクラブ内で共有することは、必ず結果を一層強くします。

4. 青少年育成の推進

- ・インターアクト、ロータリークラブへの支援および協力の強化。また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励する。
- ・インターアクト、ロータリーの新クラブ拡大 厳しい状況
- ・RYLA開催(若い世代のリーダーを育成・発掘) 本年度は実施せず
- ・青少年交換事業の理解と協力 本年度は実施せず

ロータリーは「同列」「公平」「平等」という立場が明確でありながら、時には若者に寄り添う「兄弟」「親子」「子弟」であり、若者に対して「尊敬」「感謝」を贈ることなく表します。多感な世代の若者にとっては、この距離感での関係とそこで得る経験は、将来において大きな財産になります。

6. 奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付

- 目標1：地区年次寄付50万ドル
 - 目標2：ゼロクラブゼロの継続と全会員寄付の達成
 - 目標3：恒久基金 70,000ドル増
- 《目安》 年次寄付 200ドル/1名
恒久基金 1,000ドル以上/1クラブ

年次寄付目標と恒久基金の増額目標は、当地区においての10万ドルの地区補助金原資(3年後)、4名の奨学生排出、毎年1～3件のグローバル補助金事業が可能になるようそのための原資確保です。

寄付の大小ではなく各クラブ、全ロータリーが、ロータリーとロータリー財団の目的と意義を理解し、協力することを目的としています。理解なく寄付するのは、そのお金は十分活かされると思いません。みんなが進んで協力する意図を作り上げていきたいと思います。

8. ポリオ根絶の推進



- ・ポリオ根絶キャンペーン促進、ポリオデーの実施
- ・ポリオ寄付の推進(目標 100,000ドル(40ドル/1人))

「ポリオはいつ終わるのか?」という声をよく耳にします。「あと少しと言ってから何年?」とも言われます。そう思われるのもよくわかります。しかし、『1日1000は大きな違いがあります。1日1000は2にも3にも増えやがて百千万となる可能性があります。』『0が存在しないので、増えることはないのです。その0への懸念が強いと思います。絶対に無理、とあきらめる前に「何が出来るか?」真剣に考えましょう。私たちは1980年代にポリオフリーになりました。が今でも子供達にはワクチン接種が続けられています。それは、この地球上にポリオウイルスが存在するからです。根絶すれば予防接種の手間もコストもなくなり、なにより不安から完全に開放されるのです。クナークRI会長エレクトも「私たちは、世界の子供達にポリオを根絶すると約束しました。約束は必ず果たさなくてはなりません」と語りました。約束を果たすために私たちにできることをしましょう。

3. 会員増強・会員維持・クラブ拡大

- ・地区会員数を2021年7月1日時点で、2500人以上に
- ・女性会員比率の向上
- ・新クラブ(衛星クラブ等を含む)の拡大



ロータリーは「世界を変える行動人」の集まりで、そこには性差(LGBTQも含まれて当然です)は不要だと思っています。同様に「若い会員」もそう感じます。不必要な形容詞をつけずクラブにとって必要な人材を迎えましょう。

5. クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進

戦略計画を基礎として、各クラブでは、今後5年間程度の中長期ビジョンを策定しクラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていただきたい。その為に、戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、またはより活発に活動して頂きたい。

単年度ではなく、長期的な計画も必要です。そして、それは、大き過ぎず、抽象的ではなく、誰もイメージできることが重要だと思います。一方、小さな成功の積み重ねが大きな目標の達成につながります。未来の成功の為に、今年度はただ準備をするだけ、計画を立てるだけでは不十分です。今年度、何を行い、それをどのように実現するか、も考え実行して下さい。

7. 米山奨学会寄付



寄付目標：5000万円(20,000円以上/1名) 普通寄付+特別寄付

米山奨学事業ほど、日本ロータリーの国際親善に寄与している事業はないかもしません。この寄付もロータリー財団への寄付と同様、金額の大小より米山奨学事業への理解を第一に考え、心から日本で学ぶ奨学生の為に、気持ちよく協力いただけるように努めていきたいと思っています。寄付目標は、当地区で出せる奨学生数を確実に維持でき、なおかつ一名でも多く輩出できるよう希望を込めています。米山奨学生・米山学友会の学生たちと、できるだけ積極的に交流して頂けるとありがたいです。

9. 『1クラブ1プロジェクト』の継続と奉仕プロジェクト支援

2019-20年度地区方針「1クラブ1プロジェクト」を継続し推奨すると共に、奉仕活動・奉仕プロジェクト実施のクラブ支援体制を整える。

2019-20年度第2780地区杉岡芳樹ガバナーは、昨年のPETSで『1クラブ1プロジェクト』の地区目標を掲げられました。とても素晴らしい具体的なアイデアであり、それはこれこそ単年度で終わらせるスローガンではなく継続してこそ、意義があるのではないのでしょうか。2019-20年度に着手できていないクラブも、是非英知を結集し、2020-21年度には素晴らしいプロジェクトを創り上げて下さい。もちろん「従前より当クラブは持っている」というクラブもステップアップ、グレードアップして、頂きたいと思います。